

# 平成30年度 中小機構中国本部 ハンズオン支援事業大会

## — 現場の景色が変わり、人が変わり、企業が変わる —

### 岡山で初開催

### 講演 鳥取を拠点に全国規模の事業展開 —地域にとっての企業の役割とは—

#### アクシス代表取締役 坂本 哲氏



鳥取駅前本社を置き、情報システムの開発・導入をメインにITスクールの運営や業務プロセス受託(BPO)を手がけている。私自身は鳥取出身ではなく愛媛生まれの埼玉・東京育ち。アクシスを経営することになったのは13年。当時、アクシスを経営していた父が後継者を探したものの適任がおらず、既に東京で会社を営んでいた私に声をかけた。たかが鳥取、私にはアクシスの経営に本気で取り組むため、事業継承を機に家族と一緒に鳥取へ移住した。鳥取に来るときに決めたのが「東京の当たり前を鳥取で当たり前にやる」ということ。

### 自社でITスクール立ち上げ

それを実践し、この5年間で従業員数3倍、売上上げ3倍、利益を7倍にすることができた。成長に見合った企業文化に変えていくため、中小機構からは間接部門を中心とした管理職の再構築をテーマに、半年間の短期集中で支援を受けた。鳥取という、仕事がない、人がいなくて、若者も首都圏に出て行ってしまっただけで、人材が獲得できないというイメージを持たれていたかもしれないが、当社の場合は従業員75%が県内出身者である。もともと鳥取にはIT人材が少ないが、IT人材が育つ土壌が十分ではない。加えて、17年に地域

中小企業基盤整備機構(中小機構)中国本部は2月15日、2018年度のハンズオン支援事業大会を岡山市北区で開いた。ハンズオン支援とは、支援先企業にその分野の専門家を派遣し、企業と並走しながら自己変革を後押しする手法。今大会ではサブテーマに「現場の景色が変わり、人が変わり、企業が変わる」を掲げ、変革のための人材育成を重視する姿勢を打ち出した。中国5県の中小企業経営者やマネジャー、金融機関や支援機関などから約200人が参加。熱心な質問も出され、先行事例に聞き入っていた。当日の様相を紹介する。

### ごあいさつ

中小企業基盤整備機構 中国本部本部長 村松 清孝



### 専門家派遣制度 企業発展へ活用を

変わる」と掲げている。報告会では社員の方々が自分たちで積極的に発言、発表をするようになり、専門家が帰った後も自主的に改善を続けるようになった。現在の中小企業にとって一番の課題は事業継承と人手不足。日本が人口減少時代を迎える中、生産性の向上が非常に重要。今までの製造、販売方法でいいのか考えてみる時に、この制度を活用いただければ、さまざまな制度を使って、企業発展に進んでいただきたい。



岡山で初開催されたハンズオン支援事業大会

### 人材育成 地方企業の生命線

熱意を持った経営者が一理もれた人材を擁する。『獲得する仕組みを創ること』『賞格を決めて育て上げる』。それが地方企業の生命線であり役割ではないか。

【企業概要】  
本社：鳥取市扇町7  
電話：0857・50・0375  
資本金：2000万円  
創立：1993年(平5)9月  
従業員：134人  
事業内容：システム開発・ITソリューションの提供・ITスクール運営ほか

### 事例発表2 100億円企業に向けた成長戦略と中小機構の活用

#### 英田エンジニアリング代表取締役 万殿 貴志氏



設計能力が向上 当社は岡山県美作市に本社を置く金属加工機械製造業である。パターニング関連機器を製造するNIC製造部、回転体の金型に金属の板を通すことで曲げ加工を行う、建材やパイプ、シャッターなどを製造するRF製造部、産業廃棄物処理場などでドラム缶、タイヤ、廃棄プラスチック、自動車の内装パーツを破砕するための破砕機の刃物を製造する環境機器製造部の三つが事業の柱。また、パークパークという子会社で実際に駐車場の経営を手がけており、顧客ニーズを製品に反映させる取組みも進めている。また、この活動を通

### 設計能力が向上

### 自ら考え行動する組織に

20年の売上高100億円に成長し、「自ら考え行動する組織、明るく前向きに素直な心で取り組む」が存在する。創組む組織を目指す。

【企業概要】  
本社：岡山県美作市三保原678  
電話：0868・74・3637  
資本金：6000万円  
創立：1974年(昭49)8月  
従業員：135人  
事業内容：冷間ロール成形機・造管機、破砕刃・粉砕刃、無人駐車場・駐輪場管理システムなどの企画設計製造販売およびメンテナンス・アフターフォローなどのサービス

### 事例発表1 成長戦略を達成するためのICTと生産性向上および中小機構の活用

#### 美保テクノス専務取締役 中西 寛紀氏



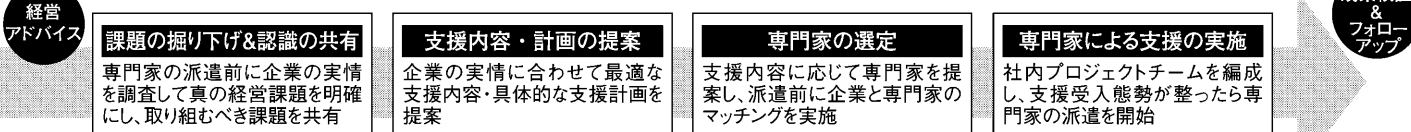
成長戦略を達成するためのICTと生産性向上および中小機構の活用 当社は鳥取県米子市に本社を置く総合建設業であり、昨年創立60周年を迎えた。当社を軸としたグループ会社として、現況分析と課題抽出、ITへの移行、グループ会社との連携強化、実際の開発を経て昨年10月に新システムを稼働させた。また、並行して、17年8月から14連の管理を一つのシステムで行えるようになり、ICTと生産性向上をテーマとした支援もいただいた。新システム導入による工数削減、リードタイム短縮などの成果をどのように経営に貢献させるかという観点での支援で実現した。

### 新業務システム構築

### 工数削減 リードタイム短縮

【企業概要】  
本社：鳥取県米子市昭和町25  
電話：0859・33・9211  
資本金：1億円  
創立：1958年(昭33)7月  
従業員：184人  
事業内容：土木、建築に関する工事の施工および測量・企画・調査設計・監理並びにコンサルタント業務ほか

### ハンズオン支援事業(専門家派遣)とは



【中小機構 成長発展段階に応じたハンズオン支援】

